

第7回えこサロン



平成22年11月26日(金)に第7回えこサロンが開催されました。

今回の話題提供をしていただいたのは、大滝山林組合の樋米浩之さんと滋賀県温暖化対策課の奥田一臣さんで、それぞれ「環境に配慮した山作り」と「低炭素社会に向けて」をテーマにしてお話しいただきました。

参加されたのは、湖東地域で環境問題に関心・興味を持っておられる二十数名の方たちで熱心に語り合い、お茶やお菓子を食べながら楽しいひとときを過ごすことができました。

湖東地域環境シンポジウム開催

本年度は、平成22年11月13日(土)11:00から、ピバシティ彦根の2階研修室で開催しました。

開会式では、恒例になった日本よし笛の会のメンバー6名でのミニコンサートで、ホタルに関する曲も演奏していただき心地良いオープニングとなりました。

続いて、多賀町立博物館学芸員の金尾滋史氏に「ホタルが教えてくれる私の町の環境」と題して基調講演をいただき、ホタルの観察を通じて湖東地域の環境や生態系を知ることのできる、興味ある内容でした。

午後からは、同会場で、一般参加者を対象に体験コーナーを開催し、クリスマスガラス細工やよし笛を作り楽しんでいただきました。1Fセンターモールでは、環境クイズに答えて記念品をゲット!として2F会場への動員を図りました。

同時開催として、11月12日(金)～11月19日(金)の期間、1Fセンターモールにて、ホタル調査結果の展示と湖東地域の環境活動のパネル展を実施しました。掲示板にはホタル調査報告書のすべてを展示し、今回調査のホタル観察記録より作成した湖東地域ホタルマップの展示は来場者にも大好評でした。



環境フォーラム湖東では新規会員を募集しています

すでに環境に関する活動をされている方や、ちょっと環境の勉強をしてみたいという方、企業・市民団体のみならず、どなたでも参加していただけます。まずはお気軽に、左記事務局までご連絡ください。環境フォーラム湖東に関する詳しい情報をご連絡いたします。

発行:環境フォーラム湖東 (平成23年3月)  
 ■ 〒522-0071  
 ■ 彦根市元町4-1 湖東環境・総合事務所環境課内  
 ■ TEL 0749-27-2255 ■ FAX 0749-27-1688  
 ■ URL <http://www.f-koto.org/>  
 ■ E-Mail [info@f-koto.org](mailto:info@f-koto.org)



エコトピア

第17号

Contents

- 1・・・湖東の生き物調査  
湖東の生き物の仲間
- 2・・・湖東の生き物調査 地図
- 3・・・第二回湖東の水環境調査
- 4・・・活動報告

湖東の生き物調査

環境フォーラム湖東では毎年調査してきた身近な生き物を22年度は「ホタル」の生息分布を目的に行なった。

ホタル調査は6月の出現時期に合わせて、調査票の配布を急がねばならず年度初めから生態、調査方法、分布書き込み地図の作成に苦慮しながらも管内小学校校長会が予定される5月初めには完成。事前説明会をさせて頂くと共に小学4・5年生を対象に各校1学年の割で配布した。

又、調査票提出者に参加賞として円形のオリジナルホタルシールを製作する。学校関係配布の調査票は2,000枚、回収時期を7月10日までとする。調査票裏面のマップ、ホタルの生態イラストが好評で提出率に期待がもたれたが予想より少なかった。提出された調査票を11月シンポジウムに合わせ拡大表示した。



▲ホタルの観察(岩倉川)



▲ゲンジボタル(岩倉川)

○ホタル調査結果から

調査頂いた「湖東のホタル」から次のように考察しました。

- 調査依頼をした全域の小学校からの回収率が予定より少なかったこと、全く調査できなかった地域がありマップ上では確認無しの表示になってしまった。
- 調査対象をゲンジボタル、ヘイケボタルに絞り、判り易くしたことにより参加者は一人で数か所のホタルを確認できた。
- 調査票は提出できなかったが参考資料のホタルの生態、裏面の湖東地域マップには大きな関心を持たれ好評であった。
- 分布図に表示されるとおり、発生箇所は集中されるが一時期より生息箇所が増えている傾向がみられる。
- 生息確認された河川、水路を見てみると、我々が6月に全国一斉水質調査をやる河川も含まれており必ずしもきれいな水質の箇所が無いことが判る。
- 生息域水路には年間を通して水が流れている。
- 河川や川岸がきれいに整備されていない処、草や低木が川岸まではびこる場所に生息。
- 市街地の夜間照明が近くにある場所では見られない。

大まかな判断ではあるが以上のような結果が読み取れた。ホタル調査は初めての試みであるが11月開催のシンポジウム講演で金尾学芸員のテーマでもあった「ホタルが教えてくれる町の環境」どおり周りの環境指標生物として毎年気にかけていきたい生き物です。

湖東の生き物の仲間



バイカオウレン(キンポウゲ科)

早春を告げる春一番の花でグイッと伸ばした茎の上に梅形の白い花を咲かす。バイカオウレン、キクバオウレン、セリバオウレンなど種類の冠名は似ている花や葉の形からとっている。昔は「カクマクサ」とか「山草」と呼ばれていたが平安時代に入り、中国でこれらの仲間を「黄蓮」と呼んでいたことから改名された。



サシバ(タカ目 タカ科)

海を渡るタカとして有名、体長50cm翼を広げると1m位になる中型のタカである。渡りの特異日とされる9月23日頃はハチクマと共に全国各地で観察される。春先から秋まで本州各地の低山や丘陵地で夏鳥として子供を1～2羽育てる。ヘビ、トカゲ、カエル、バッタなどを食し、ヒナに口移しで与える姿はほほ笑ましい。



# 湖東のホタル調査

## 第2回湖東の水環境調査

「身近な水環境の全国一斉調査」は2003年から行われていて、調査地点数において滋賀県は常にトップを維持していて、水環境に熱心な県といえます。環境フォーラム湖東は湖東地域の推進役をしていて県の調査地点数の3割を占めています。

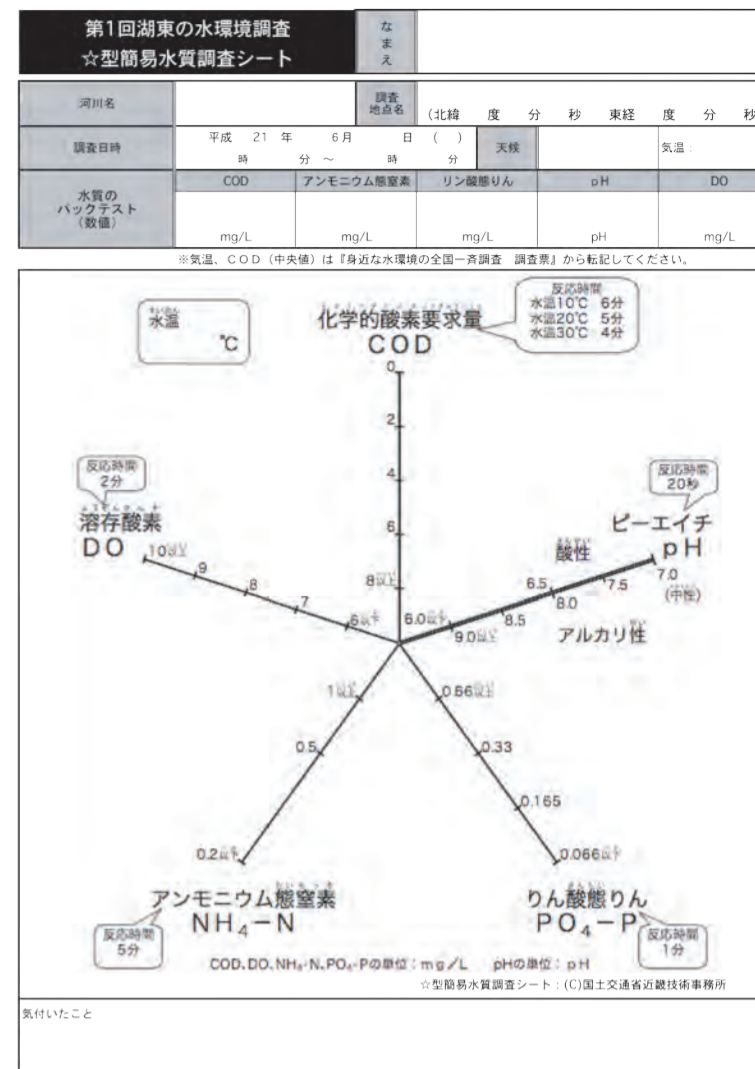
第2回湖東の水環境調査として、国土交通省近畿技術事務所で考案の「☆型簡易水質調査シート」を用いて評価しました。このシートは調査結果が☆型で示され大きい☆ならきれいな水、小さい☆なら汚れた水であることが分かるというものです。

調査項目としては「身近な水環境の全国一斉調査」で気温、水温、CODパケットを実施し、「湖東の水環境調査」ではそれに加えてPH、パケットによるりん酸態りん、アンモニウム態窒素、溶存酸素を測定しました。

基準日 2010年6月6日(日)

調査地点 湖東地域の河川、水路、池など  
 「身近な水環境の全国一斉調査」 218地点  
 「湖東の水環境調査」 23地点

- 宇曾川  
CODはやや高いがNH<sub>4</sub>、PO<sub>4</sub>は低いレベルにある。
- 犬上川  
やや汚れた支流の合流も本流でうすめられてきれいな状態で琵琶湖に入る。
- 平田川  
PO<sub>4</sub>はやや高いがCOD、NH<sub>4</sub>は低い。
- 芹川  
上流のきれいな水が保たれて流れ下る。
- 猿ヶ瀬川・港湾  
彦根市街地の中心や、外町から地蔵町にかけての新興地の排水が流れ込んでいて汚れた川といえます。浄化センターの処理水もここに入っていて、水温が高くブラックバスなどにとって居心地のよい場所になっています。
- 柳川漁港・宇曾川漁港  
宇曾川漁港はびわ湖に比べCODは高い状態にあります。
- 内湖  
流入河川の多い野田沼はCODはやや高いが良好な状態にあります。それにくらべ曾根沼、神上沼はCODが高く、NH<sub>4</sub>、PO<sub>4</sub>ともにやや高い状態にあります
- 御池岳山上の池(元池)  
人為的に影響のあるNH<sub>4</sub>、PO<sub>4</sub>のレベルは低い。CODは高い。pHはほとんどの所が、7付近であるのに6でした。溶存酸素も他にくらべ低い数値でした。



▲湖東の水環境調査 ☆型簡易水調査シート

▼第2回湖東の水環境調査 調査結果

